

下北半島都市圏広域的な立地適正化の方針に対するパブリックコメントの結果について

実施期間：令和5年6月20日（火）～7月19日（水）

受付件数：15件 意見項目数：1～7章

意見 番号	意見・提案の概要	意見等に対する本町の 考え方
1	横浜町を上北地方行政区から下北地方行政区に移管する方向での検討は避けられないと考える。	いただいたご意見は、本方針案の変更に関わる内容ではありませんので、貴重なご提言として受け止めさせていただきます。
2	都市圏で示している1市2町3村を「新むつ市」とし、2町3村は新市の「行政区」として位置付け、「行政区」には強力な自治権を付与すべきと考える。	
3	上記2の「行政区」には、「旧むつ市」とは異なる税制上の優遇措置を導入し、人口流出を防ぎ、定住促進につながる施策を取り入れる。	
4	半島の複数箇所へヘリポートを整備し、医療面での活用のほか、観光・輸送面での運用実績のある民間企業誘致や、過疎地域航空利用の試験運用を誘致する。	
5	一定規模以上で農業・漁業・林業に従事する者について、市独自で準公務員的な就業保証制度を設け、安定的で発展的な第一次産業の充実につなげる。	
6	JRや関係私鉄会社と連携し、大湊線と中央都市圏をつなぐ臨時特別観光列車を運用し、都市圏から下北地域への人流を促進する。	
7	大湊線に期間限定で蒸気機関車または古いディーゼル機関車等を走らせ、全国の鉄道ファンを呼び込み、沿線駅舎で各種イベントを実施する。	
8	海上自衛隊大湊基地とJRで協議し、大湊線を平時及び緊急時の物資輸送路線として積極活用を図る。	
9	下北縦貫道路を野辺地～むつ市から、さらに大間町まで延伸する。	
10	かつて議論されたことのある「津軽海峡大橋構想」を基礎研究するセクションを役所内に設ける。	
11	「日本で1番安心して子育てができる新市」として、ハイレベルでの出産育児祝い金（仮称）といった手厚い子ども人口増加施策を実施する。	
12	陸奥湾南岸部に海産物の大規模冷凍施設と荷上場を整備する。（横浜地域が有力）	
13	半導体等最先端の生産拠点となる企業を破格の条件で誘致する。	
14	ジオパーク研究施設（参観施設兼）を整備し、世界の研究者の活躍拠点の一つとする。	
15	ホテルや民宿のほか、オートパーク（ケビン併設が望ましい）等の宿泊エリアを整備し、特に春から秋にかけてのツアーを下北半島に呼び込む体制を強化する。	